

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課	■担当係	健康係
■評価事業名称	肝炎ウイルス検診事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	040200 - 091	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり	
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実	
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	健康増進法により国が定める肝炎ウイルス検診要領		
■関連計画の名称			
■事業の概要	肝炎ウイルス検診を受診することにより、肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関を受診することにより肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し進行を遅延させることを目的とする。C型肝炎ウイルス検査、HBS抗原検査について、40歳～75歳(5歳刻み年齢)節目検診及び41歳以上で未受診者の検診を行う。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	肝炎ウイルス健診事業	5歳刻み年齢及び41歳以上で平成14年度以降	40歳から79歳までの市民を対象に血液検査による肝炎ウイルス検診を集団検診及び市内31医療機関で実施する。	対象者8,691人受診者954人受診率11.0%集団健診67日間実施、個別健診29医療機関実施。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	7,092	3,793	2,965	3,560	
人件費	1,936	2,027	1,908	1,691	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	9,028	5,820	4,873	5,251	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	肝炎ウイルス検診年間検診日数	69日	66日	67日	67日	特定健診と同じ。
03	肝炎ウイルス検診の受診率	18.2%	11.2%	9.3%	11.0%	受診者÷対象者×100
04	コスト	130.8千円	88.2千円	72.7千円	78.4千円	フルコスト÷検診日数

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

05	コスト	4.8千円	6.1千円	6千円	5.5千円	フルコスト÷受診者数
----	-----	-------	-------	-----	-------	------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

過去に受診歴のない者を対象とした検診であり、受診率の低下が懸念される。

問題点・課題等

未受診者への受診勧奨が課題。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

肝炎による健康障害を回避するため事業継続が必要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了